

# 映画「すずめの戸締まり」と宮崎 —要石とカツオ漁—

講師：宮崎公立大学人文学部教授／放送大学客員教授／日本民俗学会理事  
永松 敦 先生

開催日時：11月23日（木、祝日）14:00～15:30

会場：宮崎市中央公民館 大研修室

参加定員：70名（申し込みは先着順ですので、お早めをお願いいたします。）

## 講演概要

新海誠監督の名作、映画『すずめの戸締り』が大ヒットした。地震国、日本ならではの名作だと言ってよい。戦後では、阪神淡路大震災、東日本大震災が鮮明に記憶として、多くの人々の心中に今も強く残っている。

東日本大震災で家族を失った主人公の「すずめ」。宮崎の親戚のもとに預けられているところから、この物語が始まる。宮崎県では、大ヒットした映画だけに、すずめの生活する土地、日南市油津が注目されるようになった。

映画では、大震災を止めるために、要石(かなめいし)によって、地震を起こすミミズを抑える話となっている。この「要石」は、日本の災害史上、重要な霊石であって、茨城県の鹿島神宮にあるのが、最も古いとされる。その他、千葉県の香取神宮や各地にこの種の霊石が現存している。

本講演では、この「要石」の問題を取り上げつつ、なぜ、宮崎県の日南市、とりわけ、油津がこの映画の出発点となっているのかに注目したい。なぜなら、油津と東日本大震災をつなぐ大きな要因があるからだ。油津はカツオ漁の漁港として知られる。カツオ漁は、季節により、千葉県銚子沖、宮城県気仙沼沖へと漁場を変えていく。この映画を正確に読む解くためには、カツオ漁による油津と気仙沼との深い関係を知っておく必要がある。

宮崎におけるアニメ聖地の新たな誕生を、今後どのように活かすのか、みなさんとともに考える講演にできればと願っている。

**申込方法**：宮崎学習センターウェブサイトの「公開講演会」ページの「第3回公開講演会申込ボタン」をクリックし、参加申込フォームに記入してください。電話やメールでも申し込みます。

**申込先**：放送大学宮崎学習センター  
〒883-8510 日向市本町11-11  
電話：(0982) 53-1893  
Email：miyazaki-sc@ouj.ac.jp



宮崎学習センター  
ウェブサイト

